

1年生 数学 《正負の数》 No. 0

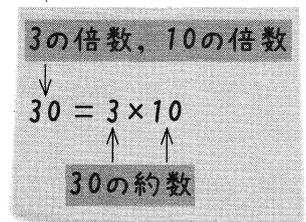
1年()組()番 氏名()

【例題 1】 1年1組の生徒数は30人です。30人を3人班に分けるとしたら、何班できるでしょうか。

<解答> 上の例題1で、30は3でわり切れるから、3人班がちょうど10班できる。このことをかけ算の式で表すと

$$30 = 3 \times \square \text{ となる。}$$

このようなかけ算の式から、わかることについて考えてみよう。たとえば、 $30 = 3 \times 10$ という式から、次のことがわかる。



☆ 30は3の倍数であり、10の□でもある。

☆ 30は3と10でわり切れるから、3と10は30の□である。

【問題 1】 6は 3×2 と表すことができます。下の□には、「約数」、「倍数」のどちらがあてはまりますか。

(1) 6は3の□である。 (2) 3は6の□である。

【問題 2】 1年1組の30人を5人班に分けるととき、ちょうど6班できます。このことを、かけ算の式で表しなさい。また、その式からどんなことがわかりますか。

<解答> かけ算の式は、 $30 = 5 \times \square$ この式から、わかることは、

☆ 30は5の倍数であり、6の□でもある。

☆ 30は5と6でわり切れるから、5と6は30の□である。

【問題 3】 31は、1と31以外の整数でわり切れますか。

答 1と31以外の整数でわり切れ□

【自然数】

1, 2, 3, ... のような1以上の整数を□という。

【素数】

自然数のうち、31 のように、1 とその数のほかに約数がない数を という。ただし、1 は素数ではない。

自然数	素数 2, 3, 5, 7, ...
	素数ではない数 1, 4, 6, 8, ...

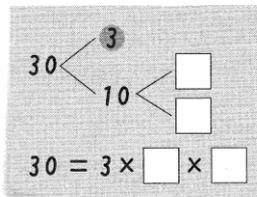
【問題 4】 1 から 20 までの素数をすべていいなさい。

答 2, 3, , 7, 11, , ,

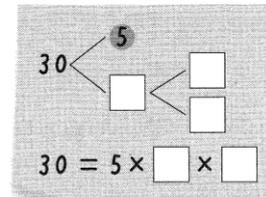
【例題 2】 30 を素数だけの積で表してみましょう。



ゆうとさんの考え



さくらさんの考え



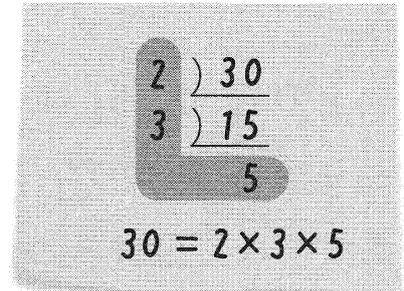
【素因数分解】

30=2×3×5 のように、自然数を素数だけの積で表すことを という。

【素因数分解の方法】

たとえば、30 を素因数分解する場合、

- ① 30 を小さい素数で順に割っていく
- ② 素数が出てきたら終了



【問題 5】 次の数を素因数分解しなさい。

(1) 66

答

(2) 130

答

【例題 3】 165 の約数を求めてみよう。

<解答> 1 と 165 は 165 の約数である。165 を素因数分解すると

$165 = 3 \times 5 \times \text{[]}$ となる。このことから、素数の組み合わせ

を考えて、

$$165 = 3 \times (5 \times 11) = 3 \times 11$$

$$165 = 5 \times (3 \times 11) = 5 \times 33$$

$$165 = 11 \times (3 \times 5) = 11 \times 15 \quad \text{答 } 1, 3, 5, 11, 15, 33, \text{[]}, 165$$

1, 3, 5, 11, 15, 33, 55, 165

【問題 5】 130 の約数をすべて求めなさい。

答

1年生 数学 《正負の数》 No. 1

1年()組()番 氏名()

【符号】

0℃を基準にして、それより低い温度は、「-」を使って表す。例えば、0℃より3℃低い温度を「-3℃」とし、3℃と読む。これに対して、0℃より5℃高い温度を「+5℃」のように、「+」をつけて書くことがある。「+5℃」は5℃と読む。「+」や「-」をこのように使うとき「+」をの符号、「-」をの符号という。

【問1】 +, -の符号を使って、次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より5.5℃低い温度

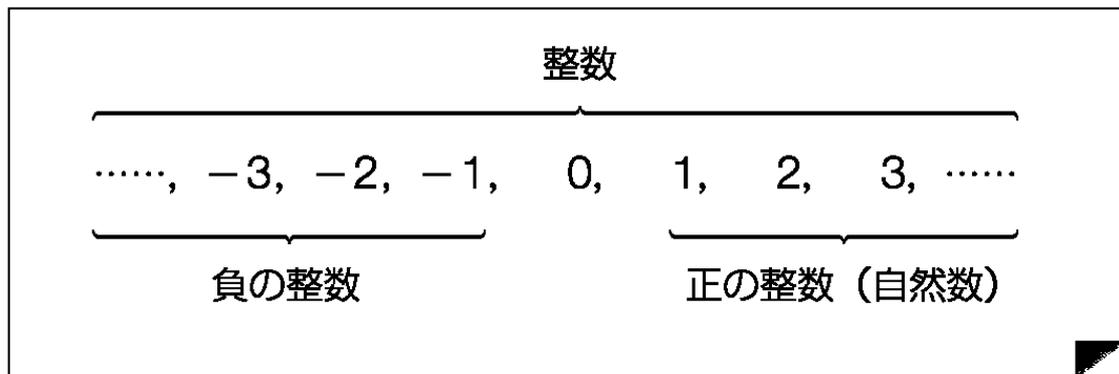
答

(2) 0℃より8℃高い温度

答

【自然数】

+5 や +8 のような数をといい、-3 や -5.5 のような数をという。は正でも負でもない数である。+5 や +8 は、前から知っていた数5 や 8 と同じ数である。これからは、数といえば、負の数をふくめて考える。例えば、整数には、、0、がある。正の整数をともいう。



【問2】 負の小数、負の分数を、それぞれ1つあげなさい。

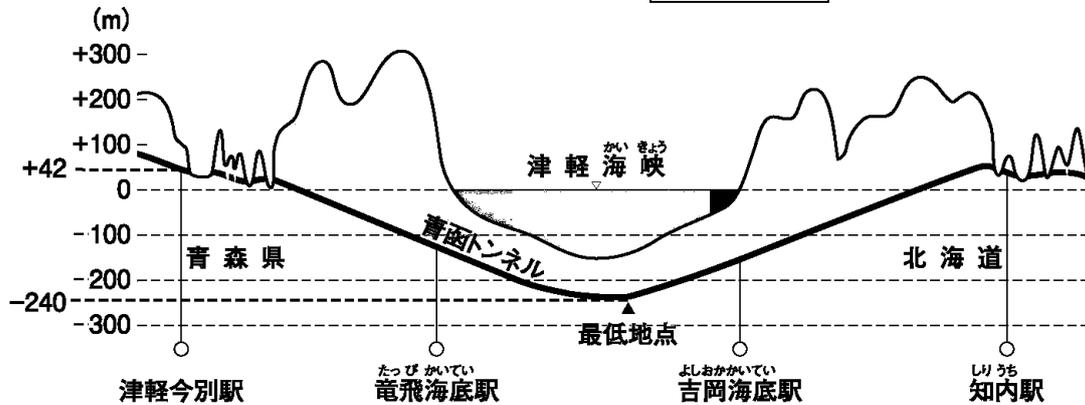
答 負の小数

負の分数

【例1】海面の高さを基準の0mとし、高さが海面より高いことを正の数、低いことを負の数で表すことにする。

津軽今別駅の標高42mは、+ mと表される。

青函トンネルの海面下240mは、- mと表される。



【問3】琵琶湖の湖面の標高は85mで、これは、湖面が海面より85m高いことを表しています。死海の湖面の標高は-400mです。これは、湖面が海面に対してどうなっていることを表していますか。

答 湖面が海面より m低いこと

【例2】500円の収入を+500円と表すことにすれば、-300円は300円の を表している。

【問4】気温が現在より5°C高くなることを、+5°Cと表すことにすれば-3°Cはどんなことを表していますか。

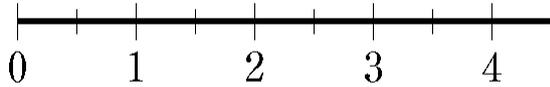
答 気温が現在より °C低くなること

1年生 数学 《正負の数》 No. 2

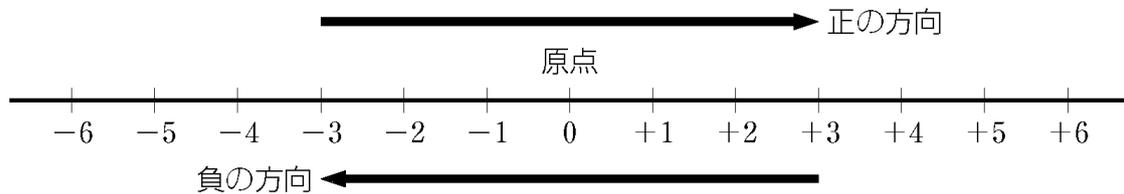
1年()組()番 氏名()

【数直線】

小学校では、の範囲の数直線を考えていた。



ここでは、をふくめた数についての数直線をつくってみよう。まず、直線上に基準の点を取り、数0を対応させる。次に、その点から左右に一定の間隔で目もりをつけ、0より右側に、左側にを、下の図のように対応させる。



このとき、数直線上で0が対応している点をという。また、数直線の右の方向を、左の方向をという。

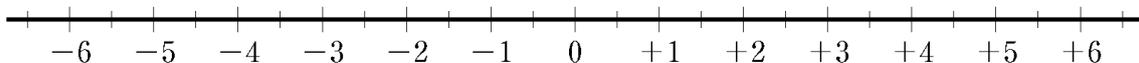
【問1】 下の数直線で、点A、B、Cに対応する数をいいなさい。



答 A B C

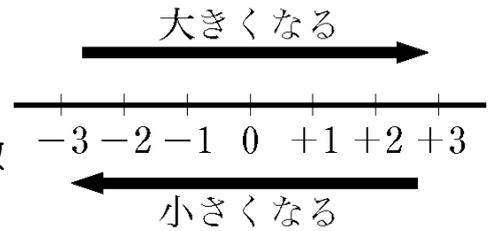
【問2】 下の数直線上に、次の数に対応する点をしるしなさい。

- (1) +3 (2) -2 (3) +4.5 (4) $-\frac{1}{2}$



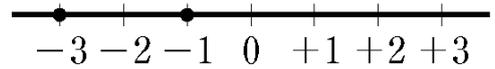
【数の大小】

正の数の範囲では、数直線上で右にある数ほど 。0と負の数をふくめた数直線上でも、右にある数ほど大きく、左にある数ほど .



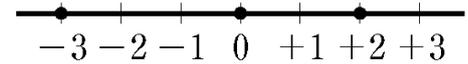
【不等号を使った表し方】

-1 と -3 の大小関係は、数直線上で、-1 は -3 より右にあるから、-1 のほうが大きい。不等号 (>, <) を使い、



< または > と表す。

0, -3, +2 の大小関係は、数直線上で、0 は -3 より右にあり、+2 は 0 より右にあるから、不等号 (>, <) を使い、



< < または
 > > と表す。

【問3】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -2, -3

答

(2) 0, +1, -2

答

【問4】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -3, +5

答

(2) -4, +3, -1

答

【問5】 -3, +4, -2 の大小を、不等号を

$$-3 < +4 > -2$$

使って右のように表しました。それぞれの数の大小がわかるように、右の表し方をなおしなさい。

-3 と -2 の大小は…



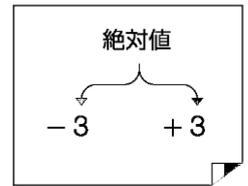
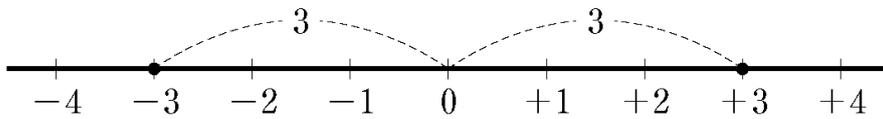
答

1年生 数学 《正負の数》 No. 3

1年()組()番 氏名()

【絶対値】

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の という。たとえば、+3 は原点から 3 の距離にあるから、+3 の絶対値は である。-3 も原点から 3 の距離にあるから、-3 の絶対値も である。0 の絶対値は である。



【問1】 次の数の絶対値をいいなさい。

- (1) +8 (2) -10 (3) +2.5 (4) $-\frac{1}{3}$

答

【問2】 絶対値が7である数をいいなさい。

答

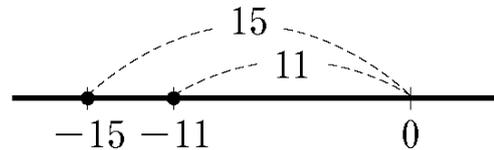
【絶対値と大小】

正の数は、絶対値が大きいほど 。では、負の数についてはどうだろうか。

たとえば、-11 と -15 では、

-15 の絶対値は で、

-11 の絶対値 より大きいから、数直線上では、-15 は -11 より左にある。したがって、不等号を使って、次のように表される。



<

このことより、負の数は、絶対値が大きいほど 。

【問3】 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-36, -49$ (2) $-0.8, -0.12$ (3) $-1, -\frac{7}{6}$

答

【練習問題】

1. 次の数を、正の符号、負の符号をつけて表しなさい。

(1) 0 より 18 大きい数

(2) 0 より 36 小さい数

答

(3) 0 より $\frac{1}{3}$ 大きい数

(4) 0 より 0.8 小さい数

答

2. 次の数の中で、負の数をいいなさい。

$-3.2, 0, \frac{2}{3}, -10, -\frac{5}{6}, 0.2, -1, +9, 6, -0.1$

答

3. 絶対値が2以下の整数をすべていいなさい。

答

4. 絶対値が2以上5以下の整数はいくつありますか。

答

5. 次の口に不等号を書き入れて、2数の大小を表しなさい。

(1) $-0.01 \square -0.1$

(2) $-\frac{1}{2} \square -\frac{1}{3}$

6. 次の数を、小さい方から順に並べなさい。また、絶対値の小さい方から順に並べなさい。

$-0.5, 0.2, -1.2, 0, \frac{3}{5}, -\frac{8}{5}$

小さい方から順

絶対値の小さい方から順

1年生 数学 《正負の数》 No. 4

1年()組()番 氏名()

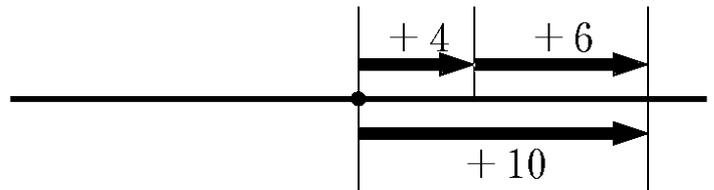
【加法】

たし算のことを□ともいう。加法の結果が□である。

【同符号の数の加法の計算方法】

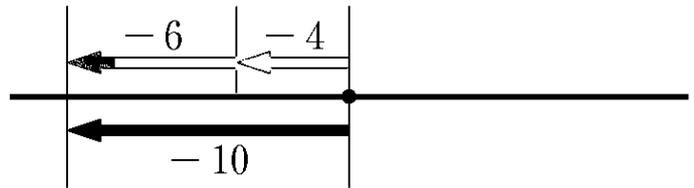
+4 と +6 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (+4) + (+6) \\ & = + (4 + 6) \\ & = + \square \end{aligned}$$



-4 と -6 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (-4) + (-6) \\ & = - (4 + 6) \\ & = - \square \end{aligned}$$



【問1】 次の計算をなさい。

(1) $(+2) + (+7)$

(2) $(-2) + (-4)$

答 □

答 □

(3) $(+4) + (+3)$

(4) $(-5) + (-8)$

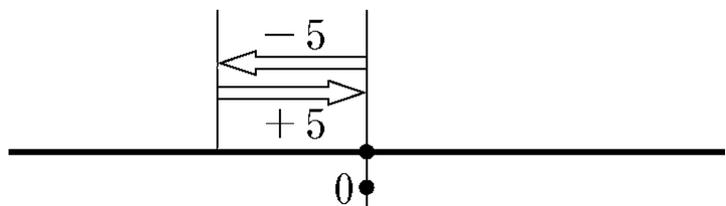
答 □

答 □

【絶対値が等しい異符号の数の加法の計算方法】

+5 と -5 の和は、下の数直線で考えると、

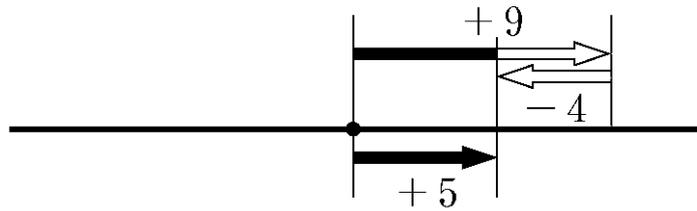
$$\begin{aligned} & (+5) + (-5) \\ & = \square \end{aligned}$$



【異符号の数の加法の計算方法】

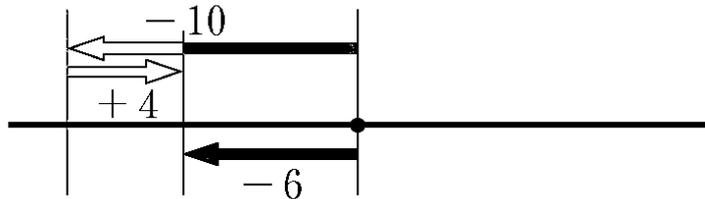
+9 と -4 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (+9) + (-4) \\ & = + (9 - 4) \\ & = + \square \end{aligned}$$



-10 と +4 の和は、下の数直線で考えると、

$$\begin{aligned} & (-10) + (+4) \\ & = - (10 - 4) \\ & = - \square \end{aligned}$$



【問2】 次の計算をなさい。

(1) $(+4) + (-3)$

(2) $(+7) + (-9)$

答

答

(3) $(-6) + (+6)$

(4) $(-12) + (+18)$

答

答

【2数の加法の計算方法】

① 同符号の2つの数の和は、絶対値の

に共通のをつける。

$$\begin{aligned} & \text{共通の符号} \\ & \overbrace{(-4) + (-6)} = - \underbrace{(4+6)}_{\text{たす}} \end{aligned}$$

② 異符号の2つの数の和は、絶対値の

大きいほうから小さいほうをひき、絶対値のほうの符号をつける。

$$\begin{aligned} & \text{絶対値の大きいほうの符号} \\ & \overbrace{(-10) + (+4)} = - \underbrace{(10-4)}_{\text{ひく}} \end{aligned}$$

1年生 数学 《正負の数》 No.5

1年()組()番 氏名()

【正の数・負の数の加法】

★同符号の2数の和

符号 → 2数と同じ

絶対値 → 2数の絶対値の

$$(+3) + (+5) = +(3+5)$$

$$(-3) + (-5) = -(3+5)$$

★異符号の2数の和

符号 → 絶対値の大きい方の

絶対値 → 2数の絶対値の大きい方から小さい方をひいた

$$(+3) + (-5) = -(5-3)$$

$$(-3) + (+5) = +(5-3)$$

【0の数との加法】

絶対値が等しい異符号の2数の和は です。

また、0と正の数、0と負の数の和は、

その のままです。

$$(+5) + (-5) = 0$$

$$0 + (+5) = +5$$

$$0 + (-5) = -5$$

【問1】 次の計算をなさい。

(1) $(-3) + 0$

答

(2) $0 + (-5)$

答

【問2】 次の計算をなさい。

(1) $(-3) + (-8)$

答

(2) $(-6) + (-10)$

答

(3) $(-7) + (+18)$

答

(4) $(-18) + (+7)$

答

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $(+21) + (-26)$

答

(2) $(-35) + (+38)$

答

$(3) \quad (-25) + (+22)$

答

$(4) \quad (+34) + (-28)$

答

$(5) \quad (-27) + (-34)$

答

$(6) \quad (-12) + (-12)$

答

$(7) \quad (-49) + (+49)$

答

$(8) \quad 0 + (-37)$

答

【分数や小数の加法】

分数や小数の加法は、整数と同じように考えて、計算すればよい。

【問4】 次の計算をなさい。

$(1) \quad (+5.3) + (-2.3)$

答

$(2) \quad (-0.4) + (-0.3)$

答

$(3) \quad \left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{2}{7}\right)$

答

$(4) \quad \left(-\frac{4}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$

答

$(5) \quad \left(-\frac{1}{3}\right) + \left(+\frac{1}{4}\right)$

答

$(6) \quad \left(+\frac{1}{6}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right)$

答

1年生 数学 《正負の数》 No.6

1年()組()番 氏名()

【加法の交換法則】

2つの正の数の加法では、加えられる数と加える数を入れかえても、和は変わらない。このことは、正負の数についても成り立つ。

これを、加法の という。例えば、

$$(+5) + (-3) = (-3) + (+5)$$

【加法の結合法則】

3つ以上の正の数の加法では、どこの2数から計算しても、和は変わらない。このことは、正負の数についても成り立つ。

これを、加法の という。例えば、

$$\{(+3) + (-9)\} + (+7) = (+3) + \{(-9) + (+7)\}$$

【3つ以上の加法の計算方法】

加法では、交換法則や結合法則が成り立つので、いくつかの正負の数を加えるとき、数の順序や組み合わせを変えて計算してもよい。

$$\begin{aligned} (1) \quad & (+3) + (-8) + (+7) + (-5) \\ & = (+3) + (+7) + (-8) + (-5) \\ & = \{(+3) + (+7)\} + \{(-8) + (-5)\} \\ & = (\quad) + (\quad) \\ & = \quad \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+6) + (-18) + (-6) \\ & = (+6) + (-6) + (-18) \\ & = \{(+6) + (-6)\} + (-18) \\ & = \quad + (-18) \\ & = \quad \end{aligned}$$

【問 1】 次の計算をなさい。

(1) $(+5) + (-9) + (-7) + (+6)$

答

(2) $(-8) + (+5) + (-3) + (+8) + (-1)$

答

1年生 数学 《正負の数》 No.7

1年()組()番 氏名()

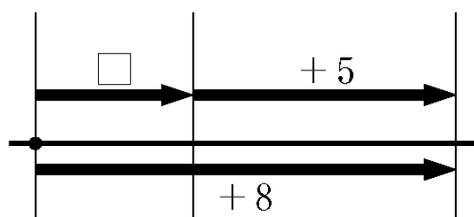
【減法】

■+5=8 の ■ にあてはまる数を考えてみましょう。小学校で学んだように、■+5=8 という式の ■ にあてはまる数を求める計算は、8-5 というひき算である。正負の数でも同じように、ひき算を考える。

(■) + (+5) = +8 の ■ にあてはまる数を求める計算は、次のひき算である。(+8) - (+5) = ■

ひき算のことを ともいう。

減法の結果が である。



【減法の計算方法① 正の数进行引く】

次の式の ■ にあてはまる数は何でしょうか。

$$(\blacksquare) + (+5) = +2 \quad \dots\dots①$$

①の式の ■ を求める計算は、次の減法である。

$$(+2) - (+5) = \blacksquare \quad \dots\dots②$$

①の式 (■) + (+5) = +2 は、右上の図のように表せる。

右の図から、■ は、+2 移動し、続けて -5 移動した結果と同じになっている。

したがって

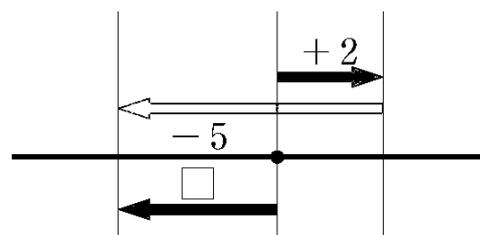
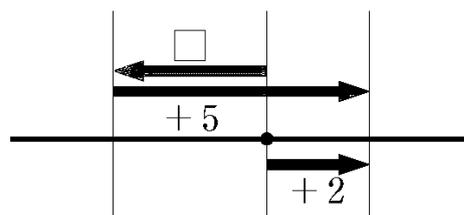
$$(+2) + (-5) = \blacksquare \quad \dots\dots③$$

と表すことができる。

②と③の「=」の左の式は、どちらも □ を表しているから

$$(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$$

となる。すなわち、+5 をひくことは、-5 を ことと同じである。



【減法の計算方法② 負の数を引く】

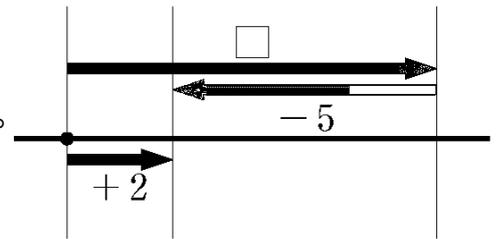
次の式の ■ にあてはまる数は何でしょうか。

$$(\blacksquare) + (-5) = +2 \quad \dots\dots④$$

④の式の ■ を求める計算は、次の減法である。

$$(+2) - (-5) = \blacksquare \quad \dots\dots⑤$$

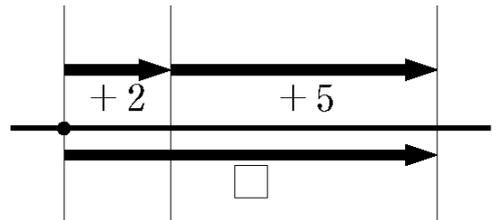
④の式 $(\blacksquare) + (-5) = +2$ は、右上の図のように表せる。



右の図から、■ は、+2 移動し、続けて+5 移動した結果と同じになっている。したがって

$$(+2) + (+5) = \blacksquare \quad \dots\dots⑥$$

と表すことができる。



⑤と⑥の「=」の左の式は、どちらも ■ を表しているから

$$(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$$

となる。すなわち、-5 をひくことは、+5 を ことと同じである。

【減法の計算方法】

正の数、負の数をひくことは、その数の符号を変えて ことと同じである。

正の数をひく	負の数を加える
$(+2) - (+5) = (+2) + (-5)$	
負の数をひく	正の数を加える
$(+2) - (-5) = (+2) + (+5)$	

【問1】 次の減法の式を、加法の式になおして計算しなさい。

(1) $(+5) - (+7)$

$$= (+5) + (\quad)$$

$$= \quad$$

(2) $(+3) - (-5)$

$$= (+3) + (\quad)$$

$$= \quad$$

(3) $0 - (+6)$

$$= 0 + (\quad)$$

$$= \quad$$

(4) $0 - (-6)$

$$= 0 + (\quad)$$

$$= \quad$$

1年生 数学 《正負の数》 No.8

1年()組()番 氏名()

【減法の計算】

0からある数をひくことは、その数の符号を変えることと同じである。また、どんな数から0をひいても、差ははじめの数になる。

$$(-3) - 0 = \square$$

符号を変える

$$0 - (+6) = -6$$

符号を変える

$$0 - (-6) = +6$$

【問1】 次の計算をなさい。

$$(1) (+1) - (+4)$$

$$= (+1) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(2) (-6) - (-2)$$

$$= (-6) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(3) (-2) - (+9)$$

$$= (-2) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(4) (+8) - (-4)$$

$$= (+8) + (\square)$$

$$= \square$$

【問2】 次の計算をなさい。

$$(1) (-6) - (-1)$$

$$= (-6) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(2) (+7) - (-9)$$

$$= (+7) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(3) (-3) - (+5)$$

$$= (-3) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(4) (+6) - (+3)$$

$$= (+6) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(5) (-5) - (-5)$$

$$= (-5) + (\square)$$

$$= \square$$

$$(6) (-7) - (+7)$$

$$= (-7) + (\square)$$

$$= \square$$

$$\begin{aligned}(7) \quad & 0 - (-8) \\ & = 0 + (\quad) \\ & = \quad\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(8) \quad & (-14) - 0 \\ & = \quad\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(9) \quad & (-4) - (-9) \\ & = (-4) + (\quad) \\ & = \quad\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(10) \quad & (+6) - (+9) \\ & = (+6) + (\quad) \\ & = \quad\end{aligned}$$

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $(-0.4) - (+0.2)$

(2) $(-3) - (-1.2)$

答

答

(3) $\left(-\frac{1}{9}\right) - \left(-\frac{4}{9}\right)$

(4) $\left(+\frac{1}{4}\right) - \left(+\frac{6}{7}\right)$

答

答

(5) $(+2) - \left(+\frac{1}{3}\right)$

答

1年生 数学 《正負の数》 No. 9

1年()組()番 氏名()

【加法の計算練習】

$$\begin{aligned} (1) \quad & (-4) + (+5) \\ & = + (\square - \square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+2) + (-18) \\ & = - (\square - \square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+9) + (-9) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-13) + (-7) \\ & = - (\square + \square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (5) \quad & (-12) + (+3) \\ & = - (\square - \square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & (-9) + (-6) \\ & = - (\square + \square) \\ & = \square \end{aligned}$$

【減法の計算練習】

$$\begin{aligned} (1) \quad & (-9) - (-2) \\ & = (-9) + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & (+7) - (-6) \\ & = (+7) + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad & (+2) - (+10) \\ & = (+2) + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (-4) - (-4) \\ & = (-4) + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (5) \quad & (-4) - (-11) \\ & = (-4) + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & 0 - (-3) \\ & = 0 + (\square) \\ & = \square \end{aligned}$$

1年生 数学 《正負の数》 No. 10

1年()組()番 氏名()

【式の項】

例えば、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ という式は、加法だけの式である。これは、()の中の下の方の4つの数の和を表している。

$+4$, -7 , $+9$, -5

これらの数を、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ の式の という

【問1】 次の式の項をいいなさい。

(1) $(-6) + (-4) + (+3)$

答

(2) $(+2) - (-5) + (-6) - (+3)$

$= (+2) + (\text{ }) + (-6) + (\text{ })$

答

【項だけを書き並べた式】

今後は () と加法の記号+をはぶいて、項だけを書き並べた式と考えることができる。このとき、式のはじめの項の+の符号は省略している。例えば、 $(+4) + (-7) + (+9) + (-5)$ という式の項は、 $+4$, , , -5 だから、項だけを書き並べた式は、 となる。

【問2】 次の式を、項を書き並べた式になおしなさい。

(1) $(-3) + (+8) + (-4)$

答

(2) $(-5) - (-2) + 3$

$= (-5) + (\text{ }) + 3$

答

【問3】 次の式の項をすべていいなさい。

(1) $-6+2-7$

答

(2) $2-3-6$

答

【加法と減法の混じった計算方法】

例えば、 $4-7+9-5$ という式は、加法の交換法則や結合法則を使って、次のように計算することができる。

$$\begin{aligned} &4 - 7 + 9 - 5 \\ &= 4 + 9 - 7 - 5 \\ &= 13 - 12 \\ &= \boxed{} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &4 - 7 + 9 - 5 \\ &= 4 + 9 - 7 - 5 \\ &= 13 - 12 \\ &= 1 \end{aligned}$$

項が入れかわっているね。



【問4】 次の計算をしなさい。

(1) $-4 + 12 - 9$

答

(2) $-5 + 3 - 2 + 6$

答

(3) $-7 + 5 + 6 - 2$

答

(4) $-4 + 9 - 6 + 8$

答

(5) $2 - 8 + 7 - 2 + 8$

答

(6) $1 - 10 + 13 - 15$

答

1年生 数学 《正負の数》 No. 1 1

1年()組()番 氏名()

【加法と減法の混じった計算方法】

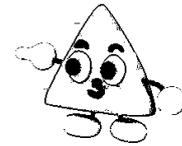
例えば、 $-17 - (-25) + 3 + (-14)$ という式の計算は、最初に

- ① ()
- ② 加法の記号+ (たす)
- ③ 式のはじめの項の+ (プラス) の符号

を省略して、次のように計算することができる。

$$\begin{aligned}
 & -17 - (-25) + 3 + (-14) \\
 = & -17 + 25 + 3 - 14 \\
 = & 25 + 3 - 17 - 14 \\
 = & 28 - 31 \\
 = & \boxed{}
 \end{aligned}$$

「=」は、縦にそろえて書くと
わかりやすいね。



このとき、

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> ① $\Delta + (+\square) = \Delta + \square$ ② $\Delta - (-\square) = \Delta + \square$ | } | 記号と符号が同じなら + (プラス) |
| <ol style="list-style-type: none"> ③ $\Delta + (-\square) = \Delta - \square$ ④ $\Delta - (+\square) = \Delta - \square$ | } | 記号と符号が違うなら - (マイナス) |

となる。

【問1】 次の計算をしなさい。

(1) $9 + (-3) - (-5)$

(2) $7 + (-6) - 4 - (-9)$

答

答

【問2】 次の計算をなさい。

(1) $3 - 8 - (-7)$

答

(2) $-17 - (-28) + 0 - 19$

答

(3) $12 - 18 - (-21) - 11$

答

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $1.3 - 2.4 - 0.5$

答

(2) $5.3 + (-6.1) - (-3.4)$

答

(3) $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{4} - \frac{1}{3}$

答

(4) $-\frac{5}{6} - \left(+\frac{3}{4}\right) + \frac{1}{2}$

答

1年生 数学 《正負の数》 No. 1 2

1年()組()番 氏名()

【問1】 次の計算をなさい。

(1) $(-4) + (+5)$

答

(2) $(+2) + (-18)$

答

(3) $(+9) + (-9)$

答

(4) $(-13) + (-7)$

答

(5) $(-12) + (+3)$

答

(6) $(-9) + (-6)$

答

【問2】 次の計算をなさい。

(1) $(-9) - (-2)$

答

(2) $(+7) - (-6)$

答

(3) $(+2) - (+10)$

答

(4) $(-4) - (-4)$

答

(5) $(-4) - (-11)$

答

(6) $0 - (-3)$

答

【問3】 次の計算をなさい。

(1) $-2 - 6$

答

(2) $5 - 6 - 8 - 1$

答

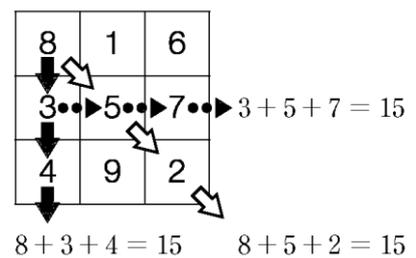
(3) $-1 - (-3) - 5$

答

(4) $10 + (-15) - (-13) - 23$

答

【問4】 右の図のように、縦、横、斜めの数の和がすべて等しくなるように、正方形に異なる数を並べたものを魔方陣といいます。次の魔方陣を完成させよう。



0		-2
	1	
4		

-9		5	6
	4		
2		0	-5
-2			-1

NO. 13

小テスト	1章 1節-1	年 組 番
		名前

1 +, -の符号を使って, 次の温度を表しなさい。

(1) 0℃より6℃低い温度

(2) 0℃より3.5℃高い温度

(3) 0℃より6.8℃低い温度

1

(1)	
(2)	
(3)	

2 次の山の高さを, 富士山の高さ3776 mを基準にして, それより高いことを正の数, それより低いことを負の数で表しなさい。

(1) モン・ブラン 4810 m

(2) きたほただけ北穂高岳 3106 m

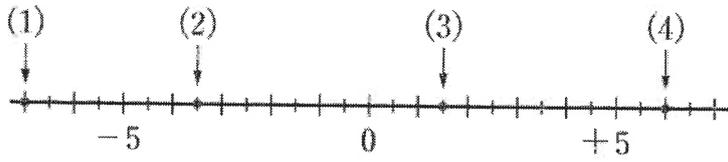
(3) エベレスト 8848 m

2

(1)	
(2)	
(3)	

小テスト	1章 1節-2	年 組 番
		名前

1 下の数直線上で、点(1)~(4)に対応する数を答えなさい。



1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

2 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-3, -4$

(2) $-5, +2, 0$

(3) $-0.71, -0.68$

(4) $-\frac{1}{4}, -\frac{1}{2}, -\frac{1}{6}$

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

3 絶対値が5である数を答えなさい。

3

--

No. 14

小テスト

1章 2節-1(1)

年 組 番
名前

1 次の計算をなさい。

(1) $(+3) + (+6)$

(2) $(-6) + (-8)$

(3) $(+7) + (-5)$

(4) $(-11) + (+11)$

(5) $(-8) + (+2)$

(6) $0 + (-9)$

(7) $(-12) + (-8)$

(8) $(+18) + (-6)$

(9) $(+25) + (-17)$

(10) $(-36) + (+19)$

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

No. 14

小テスト

1章 2節-1(2)

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

(1) $(+0.8) + (-1.5)$

(2) $(-7.2) + (-3.4)$

(3) $(-\frac{1}{7}) + (-\frac{3}{7})$

(4) $(-\frac{1}{6}) + (+\frac{5}{6})$

(5) $(-\frac{3}{4}) + (-\frac{2}{3})$

(6) $(+\frac{1}{6}) + (-\frac{1}{2})$

(7) $(-\frac{1}{5}) + (+0.8)$

(8) $(+0.25) + (-\frac{1}{4})$

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

2 次の計算をなさい。

(1) $(+8) + (-11) + (+7) + (-6)$

2

(1)	
(2)	

(2) $(-6) + (+2) + (-9) + (+4) + (-2)$

No. 15

小テスト

1章 2節-2

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

(1) $(+2) - (+9)$

(2) $(-7) - (+12)$

(3) $(-8) - (-5)$

(4) $(+8) - (-13)$

(5) $(-14) - (-14)$

(6) $(-6) - (+6)$

(7) $0 - (-7)$

(8) $(-23) - 0$

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

2 次の計算をなさい。

(1) $(-0.7) - (+0.3)$

(2) $(-4) - (-1.8)$

(3) $\left(-\frac{3}{10}\right) - \left(-\frac{7}{10}\right)$

(4) $\left(-\frac{5}{12}\right) - \left(+\frac{1}{8}\right)$

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

No. 15

小テスト

1章 2節-3

年 組 番

名前

1 次の計算をなさい。

(1) $-3-9$

(2) $4-8+9-2$

(3) $1-14+10-18$

(4) $6-(-2)+9$

(5) $-12-(-34)+0-21$

(6) $-3+(-8)-(-5)+(-7)$

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

2 次の計算をなさい。

(1) $-0.8-2.4-0.3$

(2) $4.8-6.4-(-2.1)$

(3) $1-\frac{2}{3}+\frac{5}{6}-\frac{1}{2}$

(4) $-\frac{2}{3}-\left(-\frac{1}{4}\right)+\frac{1}{6}$

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	